

電力の自由化と再エネの普及・拡大

電力自由化の目的は、①電力の安定供給、②電気料金の抑制、③電気利用者の選択肢を増やす、とされています。気候危機に対応するためには、再生可能エネルギーの普及・拡大のための電力自由化が喫緊の課題です。そのためには発送電の分離、とりわけ送電会社の中立化が必要です。しかし、日本の電力自由化は、発電会社と送電会社とは法的分離となっており、送電会社は関西電力などの従来の大電力会社の子会社に止まり、中立化ができていません。

この学習会では、あるべき電力の自由化、電力自由化と再生可能エネルギーの普及、そして原発問題と電力自由化について考えたいと思います。

■第1回 10月 9日(土)14:00~15:30 実施済み

➤ 電力自由化の到達点と課題 講演資料

講師 安田 陽さん(京都大学大学院 経済学研究科 特任教授)

日本における電力自由化の経過と到達点、あるべき電力自由化とは？



■第2回 10月23日(土)14:00~15:30 実施済み

➤ 電力自由化と再エネの普及・拡大 講演資料

講師 豊田 陽介さん(気候ネットワーク 上席研究員)

気候危機に対処し、脱炭素社会を実現するためには、再生可能エネルギーの普及・拡大が必須です。

日本の電力自由化は再生可能エネルギーの普及・拡大に役立つものになっているのでしょうか。

■第3回 11月27日(土)14:00~15:30

➤ 電力自由化と原子力発電

講師 松久保 肇さん(原子力資料情報室 事務局長)

第6次エネルギー基本計画案でも、原子力発電はベースロード電源とされ、2030年の電源構成でも20~22%を維持するとされています。原子力発電政策と電力自由化について考えます。

■開催方法: 講師の方はWEBによる講演となります。

①Zoom(ウェビナー) 募集90名

②サテライト会場 全大阪消費者団体連絡会会議室(大阪市中央区、CASA事務所隣) 募集5名

Zoomによる講演をスクリーンに投影します。視聴専門の会場。感染拡大により中止する場合があります。

■参加費:CASA・PARE会員・学生500円 一般1,000円

学生の方は、申込フォームに大学名、学部、学年をご記入ください。

会員が不明の場合はお問い合わせください。

■申込方法: 各回開催の3日前までにお申込みください。

○右記のQRコードまたは、下記の申し込みフォームよりお申込みください。

○お電話・FAX・メールでも受け付けています。氏名、連絡先、参加方法、Zoom参加の場合はメールアドレスをお知らせください。こちらからお支払いについてご連絡いたします。



■お支払方法

○WEB参加の方は、カード、コンビニ支払い、ペイジーのいずれかとなります。申込フォームの案内にそって開催日の2日前までにお支払いください。お支払がない場合、お申込みは取り消しとなります。

○会場参加の方は、当日会場にてお支払いください。

○申し込みから支払いについては、「イベントペイ」(株)メタップスペイメント)のシステムを利用しています。参加者へのメールは「イベントペイ」から送られます。ご注意ください。

○申込手続き等が完了しない場合や手続きが不明の場合、銀行振込ご希望の方は、お問合せください。

○キャンセルの場合は、CASAまでお知らせください。3日前までにキャンセルをされた場合は、参加費を返金いたします(振込の場合は、振込手数料は差し引かせていただきます)。

Zoom参加の方には、開催日の2日前に、参加のためのURL・資料をメールにて案内します。

■お申込・お問合わせ:CASA (平日10:30~16:30 土・日・祝は休業)

電話:06-6910-6301 FAX:06-6910-6302 メール: office@casa1988.or.jp

主催:NPO法人地球環境市民会議(CASA)